

あけましておめでとうございます



会長 堂野崎 平

明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は、本会事業には、ご指導・ご協力を賜り誠にありがとうございました。

さて、少子高齢化、過疎化の進行する中で、国は、「地域共生社会」（人と人、人と資源が世代を超えて「丸ごと」つながることで、住民ひとりの暮らしと生きがいを地域とともに創っていく社会）の実現を目指しており、ここで暮らしたいという思いを支える大きな力は、地域の意識であり、また、住民による支え合いの仕組みをいかに創るかが重要となります。

福祉サービスは、以前に比べれば充実してきました。しかし、多様化するニーズに公的なサービスだけでは困難な状況があります。個人の困りごとを地域の困りごととし、地域住民が協働し支え合う活動を推進していく必要があります。住民自らの意思で行動を起こし、誰もが助ける側にも助けられる側にもなれる豊かな社会づくりが求められています。

江田島市でも、地域づくりのため「まちづくり協議会」の設立が推進されています。それぞれの地域で、自分たちの住む地域をどんな地域にするのかを将来に向けて考えていかなければなりません。

そのためには、まず、地域で集う場、話し合う場の設置が必要ではないでしょうか。社協では、今年は、行政や地域のみなさんとともに、この地域福祉を考える場づくりを重点事業として推進していきたいと、考えていますので、ご協力よろしくお願いたします。

おわりに、今年がみなさまにとって、良い年になりますようお祈りいたします。





えがおえだじま応援センター 研修会&交流会を開催しました

in 江田島青少年交流の家



研修会の様子



ボランティア活動について、みなさんが日頃感じている熱い想いを、ざっくばらんにお話しされています！

交流会の様子



カンパニーの合図で、研修後の「バーベキューでお疲れ会」スタート♪みなさん手も口も止まりませんでした！

ボランティア活動を振り返ってみよう！

11月30日にしおかぜネット&災害ボランティア合同で研修会ならびに交流会を開催しました！今回は、広島県社会福祉協議会の方に講師として来ていただき、自己紹介では漫才コントのように盛り上げて頂いたお2人に、講義を進めていただきました。改めてボランティア活動について振り返り、初心に戻り、ボランティア活動を見つめなおしてみませんか？といったテーマで、グループワークを通しての意見交換を行いました。

グループワークを通して、みなさんのお話を聞かせていただいて、今回参加されたみなさんは、「**誰かを思いあって、誰かのために、地域のために何かしたい**」といった想いが強いということを感じました。

研修後のお疲れ会では、「こういった機会がないと普段あまり会うことがないので、みなさんと話せて楽しい時間を過ごせるから嬉しい。」といった声を聴くことができました。ぜひ今後も続けていきたいと思えます！とてもにぎやかな会となり、みなさんの今後の活動の活力になれたらいいなと感じました♪



漫才コンビ？いえ、県社協のお2人です

赤い羽根共同募金運動 ならびに 社協会費(一般・賛助)



ご協力ありがとうございました!



平成29年10月から12月の間、ご協力を願い、皆さまから納入いただきました共同募金・社協会費は、以下のとおりです。(平成29年12月15日現在の集計)

◆赤い羽根共同募金
5,454,894 円

◆社協会費
1,689,400 円

◆賛助会費
283,000 円

～みなさまからの募金・社協会費は地域の福祉を支えています～

ボランティア活動

みんなのために(社会的)自分からすすんで(自発的)行う援助活動。



お互いさま活動「しおかぜネット」も実施中。

災害ボラネット活動

災害発生後、被災状況に応じて「江田島市被災者サポートボランティアセンター」を設置。要援護者を含めた住民に対して「被災者生活サポートボランティア活動」による災害救援活動を組織的に行う総合窓口としての役割を社協が担います。



広報 & 研修・講座活動

広報紙「しおかぜ通信」、ダイレクトメール「ハマレボ」、ダイレクトメール「サロン通信」の発行。



ボランティアに関する研修・講座は随時開催。学びや仲間づくりの場を提供。

ふれあいサロン活動

近所の顔なじみが、いつもの場所に集まる「地域のたまり場」。



福祉教育活動

思いやりの心と故郷を大事にすることも「地域と運動した活動」で育む活動。



小地域福祉活動

地域の困りごとは地域で解決に取り組むという、住民参画の福祉活動。



自治会をはじめ、ご協力いただきました皆様・企業・団体などの方々に厚くお礼申し上げます。

納めていただきました共同募金・会費は、様々な地域福祉事業に活用しつつ、住民の皆様へ還元し、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりの実現に努めてまいります。

江田島小学校で福祉体験学習を行いました!

“ふ・く・し”の授業から始まり、高齢者疑似体験や車いす体験で実際にお年寄りになりきって学ぶ授業をさせていただきました!

「ふだんのくらしを しあわせに」する事が「ふ・く・し」であり、一番簡単だけど一番大事な自分たちにできる「ふ・く・し」は「あいさつ」である事を知ってもらいました。今後も子どもたちの心に「ふ・く・し」の芽を育むお手伝いをしていきたいと思っております。



車いす体験の様子

フェスティバル江田島2017へブースを出展しました!

今年も、11月19日に江田島青少年交流の家で開催された「フェスティバル江田島2017」にしました。「共同募金PR」や「ワークショップ～ケーキマグネットづくり～」等を行い、多くの方にブースを訪れて頂きました。赤い羽根共同募金へも多くの寄付を頂きました。ご協力ありがとうございました。



子どもたちの体験の様子

大古小学校四年生が

新開ふれあい交流会に訪問しました♪

本格的な寒さになってきましたね。コタツからでられない荒木です…

★第1・3水曜日 9時～ 新開老人集会所にて開催中！



真剣！将棋勝負！



折り紙を折っています！



最後は全員で記念にパシャリ♪

今年10月に「福祉教育」として「ふ・く・し」の講義や高齢者疑似体験・車いす体験を通して“高齢者”について、私たちが学びのお手伝いをさせて頂いた大古小学校4年生の皆さんが、その時の学びを活かし、また更に学びを深めるために、地域住民の居場所である「ふれあいサロン」訪問として、大柿町深江地区『新開ふれあい交流会』の皆さんと11月8日（水）に訪問交流会を行いました！

子どもたちは、地域のみなさんと一緒にカレーライスを作ったり、将棋をしたり、草履の編み方を教わったり、終始あたたかい雰囲気の中で交流を楽しんでいました♪子どもたちから地域のみなさんへの質問タイムでは、たくさんの質問を考えてきていて、子どもたちの知りたい気持ちを感じることができました。前回の福祉教育の学びと今回の交流会の学びから、今後地域の為に自分たちができる“ふ・く・し”について考えてもらえたらいいなと思いました。

☆ 当事者向け講座（ピアカウンセラー養成講座等） ☆

日 時	行 事
20日(土)	びあサポートサロン（知的や精神の障害のある方々の交流会）
27日(土)	ばすてるの会♪（本音の言える身体障害当事者の会）

※参加を希望される方や、会場の場所、移動方法などのお問い合わせは下記までご連絡下さい。

江田島市障害者生活支援センター

〒737-2213 江田島市大柿町大原 1068-6 大柿老人福祉センター2階

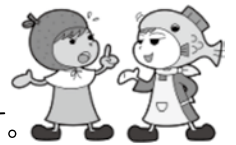
電話：0823-27-8880 ファックス：0823-27-8889 メール：esien@etajima-syakyo.org



1月心配ごと相談所ご案内

《開設時間 午後1時～3時30分》

相談員の皆さんが、日常生活の悩みごとや心配ごとの相談に応じて解決に努めます。問題によっては関係機関の紹介もします。相談所は市内のどこでもご自由にご利用できます。



1月5日（金）	1月9日（火）	1月16日（火）	1月23日（火）
わくわくセンター (旧江田島市農村環境改善センター)	大柿公民館	三高会館	江田島公民館

「司法書士会江田島総合相談センター」のご紹介



広島司法書士会の法律相談所が江田島市内で毎月第2・3・4木曜日に3回定期的に開催されています。無料で法律に関する相談に応じて頂けます。事前予約が必要なので、詳しくは広島司法書士会(下記)にご連絡ください。

TEL：082-224-1313

【電話予約：毎週月～金曜日 9時～17時まで】

江田島市社会福祉協議会 えがお えたじま 応援センター

〒737-2302

広島県江田島市能美町鹿川2060番地（能美福祉センター内）

電話（0823）40-2210 fax（0823）27-7760

